

平成24年9月1日現在

## 職務経歴書

氏名 小林 良

### ●職務要約

関東外国語大学卒業後、新卒入社した造船重工業株式会社に現在まで約21年勤務。造船事業本部を経て、企画部で長期全社戦略立案・実行などに携わった後、新規事業として立ち上がった電装品部にて電気装置・計装品を海外企業並びに海外代理店発掘に従事。この約7年半の海外営業経験が、今までの自身のキャリアの中での最もやりがいを感じた時期であり、ここで培った貴重な経験を新天地で活かしたいと思い、転職する決意を固めた次第です。

### ●職務詳細

平成3年4月～現在 造船重工業株式会社

事業内容：船舶部品の製造、修理および販売 資本金：10億円 従業員数：2,500名

期間	業務内容
平成3年4月 ～ 平成7年2月	【配属】造船事業本部 第2営業部 営業第1課 【職位】正社員 【業務内容】船舶部品の海外営業に伴う営業サポート ・英文契約書の日本語訳業務 ・営業先（中国、韓国など）に帯同し通訳 ・英語の各種営業ツール作成
平成7年3月 ～ 平成10年3月	【配属】造船事業本部 業務部 民需業務課 【職位】正社員 【業務内容】韓国メーカー向け部品製造の輸出管理 ・業者選定、価格交渉、物流手配などの輸出実務 ・製品管理、在庫管理、出荷指示 【主な実績や身につけたスキル等】 ・インボイス、税関説明、海上保険など通関士レベルの貿易実務を体得
平成10年4月 ～ 平成16年3月	【配属】本社 企画部 【職位】主任 【業務内容】新規事業開拓及び長期全社戦略立案・実行 ・主に韓国釜山造船との戦略的国際資本提携交渉を担当 （予備調査、契約交渉とりまとめ、投資銀行・弁護士・コンサルティング会社折衝、デューデリジェンス等のM&A業務全般） ・新規事業の1つとして検討課題であった電装品開発プロジェクトに参画 【主な実績や身につけたスキル等】 ・約2年に及ぶ釜山造船との提携交渉にて高度でタフな交渉力を体得
平成16年4月 ～ 平成23年12月	【配属】新規事業本部 電装品部 営業第1課 【職位】課長代理 【業務内容】造船メーカー向け電気・計装品の新規開拓営業 【営業シェア】国内65%：海外35% 【営業チャンネル】直販60%：代理店40% 【顧客層】中型以上の鋼鉄船メーカー 【主な実績や身につけたスキル等】 ・中国、韓国等で商談を経験。世界で渡り合える高い交渉力を体得 ・中国、韓国との代理店開拓で現地人脈を構築 ・5か年計画での目標売上高150%達成（平成21年度） ・平成22年度において売上目標数字達成120%
平成24年1月	【配属】本社 総務部 新規事業本部担当 【職位】課長（部下5名）

～ 現在	<p>【業務内容】新規事業本部の運営サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業本部の中期経営企画の立案</li> <li>・予算編成統括、実績管理、レポートニング、各種助言</li> <li>・部下5名の人材育成</li> </ul> <p>【転職理由】今まで培ってきた海外営業や輸出業務といった経験を活かして、海外での交渉・折衝業務をキャリアの軸としたい、転職を決意。</p>
---------	---

●**貴社で活かせるスキル・経験**

- ・海外営業経験（約7年半）
- ・海外相手であろうと怯まずに粘り強く進める、交渉力、折衝力
- ・日本語・英語の両言語による質の高いプレゼンテーション能力
- ・異国の商慣習や国民性の違いの認識、その吸収力・対応力

●**自己PR**

現職の造船重工業において、8か月前までの約7年半もの間、商慣習も国民性も全然違う、日本の常識が通用しない海外各国を相手に、船舶向けの計装品という非常に高度な製品を営業していました。

それまでは営業サポートや輸出管理、企画と、どちらかという自主的に外に働きかけるという業務ではなく受け身の仕事でしたので、就任当時はその違いに非常に苦労しました。しかし、持ち前の粘り強さで、製品技術の知識を詰め込み、購買担当者と折衝を重ねるうちに、新規製品の特長のPR方術など、売り方のポイントがはっきりと見えるようになり、それを売上実績につなげることができました。

このような経験から、特徴的な技術・製品を保有している、伝統的な日本のメーカーである貴社が、グローバル展開する際に必要な海外営業の分野で、私ならば貢献できると確信しています。

●**特記事項**

現職に着任してから約8か月が経ち、改めて今までのキャリアを振り返った時に、海外営業に携わった約7年半こそが自身の職業人生の中で最もやりがいを感じた時期であったため、残りのキャリアをこの仕事で全うしたい、という想いが大変強くなりました。

もちろん、今退職勧奨を受けていて、現職を辞めなければならないという状況では一切ありませんが、この経験を貴社で活かしてみたいと思い、今回転職を決断した次第です。

以上